

玩具業界のイノベーション を支えるプロジェクト変革:

Spin Master社 5,000件超のプロ
ジェクトを統合管理し、業務効率を
55%向上

企業概要

Spin Master社は、北米、欧州、アジア、オーストラリアに拠点を展開するグローバルな玩具・エンターテインメント企業です。同社は、Bakugan、PAW Patrol、Air Hogs、Rubik's Cubeといった世界的に知られるブランドを展開するほか、玩具事業にとどまらずデジタルエンターテインメント分野へも事業領域を拡大しています。子ども向けエンターテインメント業界におけるイノベーションを牽引する企業として、30年以上にわたり業界をリードし続けています。



課題

Spin Master社では、複数の製品ラインにまたがる5,000件以上のプロジェクトを常時管理しています。プロジェクト期間は平均6~18か月に及び、エンジニアリング、マーケティング、パッケージング、調達など複数の部門が、在庫管理、顧客注文、出荷コード、UPCなどを管理するSAPのマスターデータ作成に関与しています。従来、各部門で、複数のシステムを利用してデータを入力していました。

その結果、データの整合性に関する問題や、社内リソースの非効率な活用が発生していました。さらに、2つのシステムへの手入力によって不正確なデータレコードが作成され、データの不整合も

生じていました。この問題を修正するためには、利用可能なリソースを上回る工数が必要となっていました。

また、週次のステータスレポートや月次の「Operational Excellence」レポートの作成には、経営層向けレビューの準備のために、従業員が数日間を費やさなければなりませんでした。

Spin Master社は既存の業務プロセスを監査し、ソリューション導入に向けたロードマップを策定しました。そして監査の結果、これらの課題を戦略的に解決するソリューションとしてPlanisware Enterpriseを選定しました。

解決策

Planisware Enterpriseは、Spin Master社における信頼できる単一の情報基盤（Single Source of Truth）として導入されました。これにより同社は、ニーズの変化に柔軟に対応しながら、数千件に及ぶプロジェクトのデータ収集におけるリソース効率を向上できるようになりました。

Planisware Enterpriseの統合プロジェクトでは、全社横断的な連携が求められました。Spin Master社の部門横断的な関係者チームは、過去から存在していた課題を洗い出し、それらの課題と解決策に対応する計画を策定するために、1年以上にわたり協力して取り組みました。

Spin Master社は段階的な計画を策定し、一歩立ち止まってデータ収集やプロジェクト管理のあり方を見直しました。そして、特定のデータ種別が本当に必要なのか、誰がそれらを利用しているのか、どのようなユースケースで活用されているのかを改めて検証しました。こうした検討を通じて、Spin Master社は受け渡されるデータストリームを合理化し、本当に必要なデータのみを追加する運用を実現しました。

Spin Master社とプランイスウェアは、3つのフェーズにわたり連携しながら、Planisware Enterpriseプラットフォームを業務プロセスへ統合しました。

フェーズ1 Planiswareポータルを作成し、自動入力されるデータフィールドを活用するとともに、Spin Master社のチームが必要とするデータのみを入力する仕組みを導入することで、Enterpriseプラットフォームと社内システムを連携し、手作業によるデータ入力の課題に対応しました。

フェーズ2 Spin Master社の1チームを完全にPlanisware Enterpriseへ移行し、業務をすべてPlanisware Enterprise上で実施する体制を構築しました。これにより、Planisware Enterpriseを唯一の業務環境として検証しました。



「製品開発に関わるマスターデータ業務をすべてこのシステムで行えるようになったことは、とても大きな前進でしたし、私たちのチームにとって大きな成功体験となりました。」

Spin Master社は、フェーズ1およびフェーズ2を通じて、単一の業務環境が透明性とコラボレーションの自然な向上につながることを確認しました。また、説明責任の強化や社内の前向きな変化も促進されました。

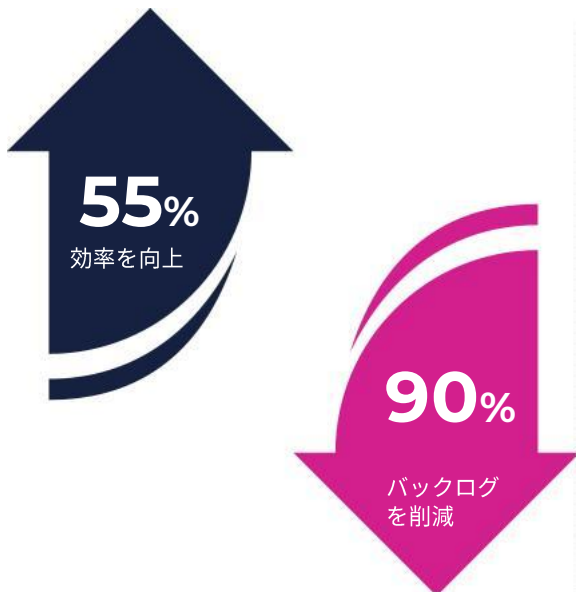
さらに、レポート業務は毎月の負担となる作業から、業務プロセスの中で自動的に生成されるアウトプットへと変わりました。

フェーズ3 Spin Master社は製品開発チームをPlanisware Enterpriseへ統合しました。同チームは短期間のうちに、Spin Master社のデータに関するあらゆる業務を遂行するためにPlanisware Enterpriseを活用するチームとなりました。



Planisware Enterpriseを信頼できる単一の情報基盤（Single Source of Truth）として導入した結果、Spin Master社は業務効率を55%向上させました。また、この取り組みにより、マスターデータ設定のバックログを90%削減しました。可視性が向上したことで、各チームはより多くのボトルネックを特定できるようになり、あらゆるフェーズにおいて新たな改善機会を発見できるようになりました。

Spin Master社は今後、さらに多くのチームをPlanisware Enterpriseへ移行し、業務効率を一層高めるとともに、新たな改善機会の発掘を進めていく予定です。



まとめ

Spin Master社は、サイロ化されたデータシステムがデータ整合性の問題を引き起こし、その修正には大きな労力を要していることを認識していました。

Planisware Enterpriseの段階的な導入を開始するにあたり、Spin Master社は一度立ち止まり、なぜそのデータが必要なのか、誰が利用するのか、そしてマスターデータに適切な情報が入力されているかを見直しました。

Planisware Enterpriseを信頼できる単一の情報基盤（Single Source of Truth）として導入した結果、同社は55%以上の業務効率向上を実現しました。



「Planiswareの導入後、『作業時間を何時間も削減できた』というメールが数多く寄せられました。」

ディーピカ・フィービー氏
シニアプロセスエンジニア



また、マスターデータ設定のバックログを90%削減し、さらに同社のチームが持つ知見と専門性によって発見されたその他のボトルネックを解消することで、大幅な時間削減効果も得ています。




Planisware
Make Vision Reality

<https://jp.Planisware.com>
Info-japan@planisware.com

